

同文書院記念センター展示室の開設について

愛知大学東亜同文書院大学記念センター運営委員会委員長

今泉潤太郎

愛知大学東亜同文書院大学記念センターは1994年5月30日設立された。設立の契機となったのは愛知大学が1991年7月、東亜同文書院記念基金を受託したこと、同年10月、孫文、辛亥革命と山田良政・純三郎関係資料を受贈したことである。後者は数多くの貴重な資料を含み、整理が進み、その価値と意義があらかたにされるにつれ、資料の早急な公開展示を望む声があつた。

従来、本学には同文書院の教授学生が引揚げの際、困難な状況の中で持ち帰ってきた同文書院の学籍簿、成績簿があり、ほかにも雄松堂書店からマイクロフィルム化され広く世間に知られるようになった「中国調査旅行報告書」の原本などがある。またセンター設立後、あらたに村上武氏の提供による根津一関係資料、さらに滬友会員諸氏からも紅衛兵セクトの機関紙や「華語月刊」、「華語萃編」などを含む多数の書籍や資料が寄贈されている。

ときあたかも本学は昨年創立五十周年を迎え、この記念

事業の一として新本館が建築されたことともない、旧本館を修繕し愛知大学記念館として保存することとなった。今回この修復がなされて、建物内の一区画を同文書院記念センターの常設展示の場として与えられ、ここに待望の展示室の開設が実現することになった。

この四年間にわたり、一日も早い常設展示を期待して、支持と激励を与えてくださった、学内外の皆様へ感謝申し上げますとともに、同文書院記念センターの発展のために更なるご支援を心からお願ひ申し上げる次第である。

一九九八年三月二十日